

12 財 務

1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第三期目の決算を迎え財務諸表を作成しました。

公立大学法人の財務諸表は、企業会計原則を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、本法人の財政状態や運営状況を示したものです。

2 貸借対照表

貸借対照表は、平成26年3月31日現在における、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を表示したものです。

（資産の部）

資産の総額は、73億8百万円です。

うち、土地・建物等の固定資産が65億7千万円で資産全体の89.9%を占めています。また、高知県から出資または継承により取得した財産は、62億8千4百万円で総資産の86.0%となっています。

（負債の部）

負債の総額は、11億4百万円です。

うち、固定負債が7億1千4百万円で、負債全体の64.7%を占めます。固定負債のうち99.7%は公立大学法人特有の会計処理による資産見返負債となっています。

資産見返負債は、特定の財源で償却資産を取得した場合に、減価償却処理による損益への影響を排除することを目的とし負債に計上するもので、支払義務のない会計上の負債です。

流動負債3億9千万円のうち、主なものは、未払金3億2千8百万円で、そのうち退職金等の人件費が1億7千5百万円となっています。

（純資産の部）

純資産の総額は、62億3百万円です。

うち、資本金（高知県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△3億1千4百万円、利益剰余金が3億5千1百万円となっています。

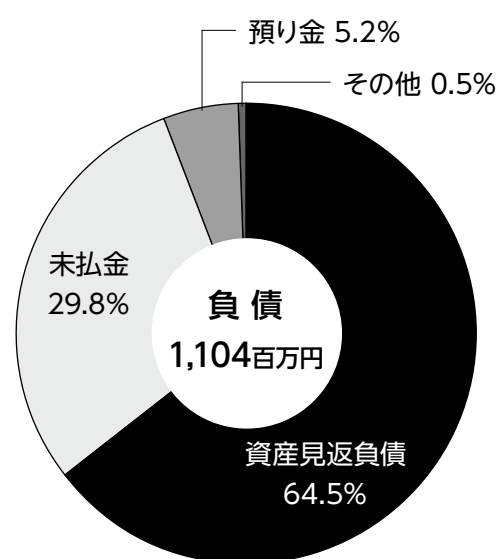
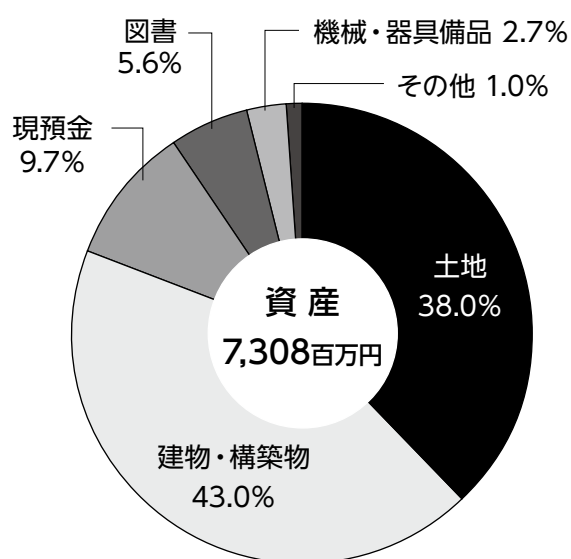
資本剰余金は、高知県から継承した未償却資産6百万円及び本年度購入した土地1億5百万円と出資された建物の損益外減価償却累計額4億2千万円及び損益外減損損失累計額5百万との差額となります。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定資産	資産見返負債	712
			建物	3,092			長期リース債務	2
			構築物	54			小計	714
			機械装置	47		流動負債	未払金	328
			工具器具備品	148			前受金等	1
			図書	412			預り金	57
			車両運搬具	3			その他	1
			美術品・収蔵品	6			小計	390
			小計	6,544		合計③	1,104	
	無形固定資産	22	純資産の部	資本金	6,167			
	投資その他の資産	2		資本剰余金	△ 314			
	合計①	6,570		利益剰余金	351			
	現金及び預金	712		合計④	6,203			
流動資産	その他の流動資産	25						
	合計②	738						
資産合計 ①+②				7,308	負債純資産合計 ③+④		7,308	

※百万円未満切り捨て



3 損益計算書

損益計算書は、当期（平成25年4月1日から平成26年3月31日）に発生した法人のすべての費用とそれに対応する収益、並びに収益から費用を差引いた利益を表示し、法人の運営状況や収益構造を表示したものです。

（経常費用）

経常費用の総額は、26億1千3百万円です。

うち、業務費が24億8千1百万円、一般管理費が1億3千2百万円です。

業務費の内訳は、教育経費が4億6千9百万円、研究経費が1億6千8百万円、教育研究支援経費が5千万円、人件費が17億7千9百万円となっています。なお、人件費が経常費用に占める割合は、71.7%となっています。

（経常収益）

経常収益の総額は、26億3千6百万円です。

うち、高知県から交付を受けた運営費交付金の収益が14億8百万円、授業料・入学料・検定料等の収益が8億3千4百万円、受託研究・事業等の外部資金による収益が1千2百万円、資産見返負債戻入が8千5百万円、施設使用料や科学研究費補助金の間接経費等の雑益が1億2千万円となっています。

資産見返負債戻入は、公立大学法人特有の会計処理によるもので、減価償却処理による費用発生の都度、資産見返負債を取崩して収益化する際に発生する会計上の収益です。

（経常利益）

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、2千3百万円です。

（当期総利益）

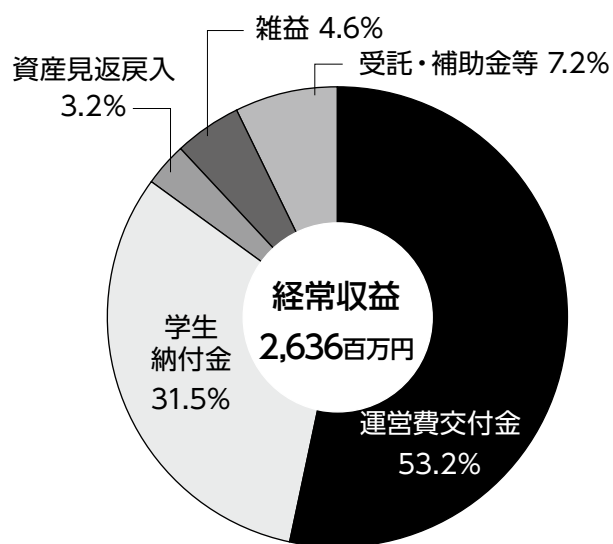
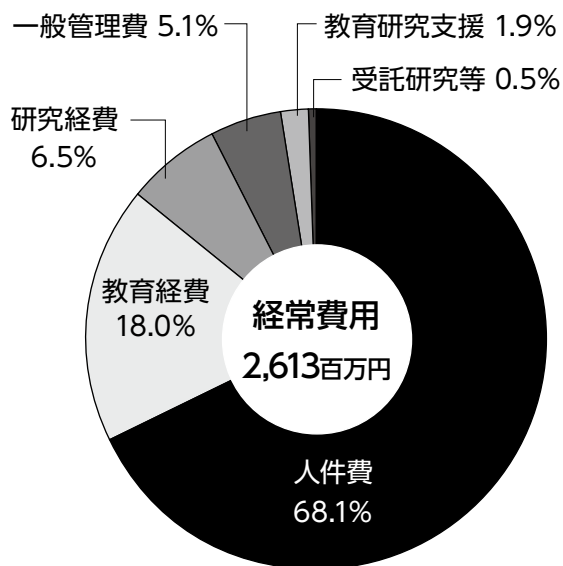
平成25年度の当期総利益は、2千3百万円となりました。これは貸借対照表の当期未処分利益と一致しています。

損益計算書の概要

(単位:百万円)

経 常 費 用	業 務 費	教員経費	469	経 常 収 益	運営費交付金収益	1,408
		研究経費	168		授業料収益	727
		教育研究支援経費	50		入学料収益	80
		受託研究費等	5		検定料収益	26
		受託事業費	7		受託研究等収益	5
		役員人件費	19		受託事業等収益	7
		教員人件費	1,387		寄附金収益	12
		職員人件費	373		補助金等収益	162
		合 計	2,481		資産見返負債戻入	85
	一般管理費	132	その他		120	
合 計	2,613	合 計	2,636			
当期総利益			23			

※百万円未満切り捨て



4 その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

通常の事業活動により生じた資金の流れを示す業務活動によるキャッシュ・フローの収支差額2億3千1百万円から、投資活動によるキャッシュ・フローで表示される設備投資等により生じた支出合計1億8千1百万円を減算すると、当期の資金増加額は4千9百万円となり、前期繰越額と併せた期末残高は7億1千2百万円となります。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	231
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 603
	人件費支出	△ 1,686
	その他支出	△ 95
	運営費交付金収入	1,460
	学生納付金収入	799
	受託・補助金・寄附金収入	214
	その他収入	141
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金増加額	49
V	資金期首残高	663
VI	資金期末残高	712

※百万円未満切り捨て

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにしたものです。

利益の処分に関する書類（案）の概要

(単位:百万円)

I	当期末処分利益	23
	当期総利益	23
II	利益処分数額	23
	積立金	0
	目的積立金	23

※百万円未満切り捨て

③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、公立大学法人の運営上のコストのうち、県（住民）が負担している全コストを明らかにしたものです。

行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務費用	1,732
	(1) 損益計算書上の費用	2,613
	(2) 自己収入等	△ 880
II	損益外減価償却相当額	118
III	引当外賞与増加見積額	△ 11
IV	引当外退職給付増加見積額	△ 260
V	機会費用	142
VI	行政サービス実施コスト	1,720

※百万円未満切り捨て

5 外部資金導入の状況

(1) 科学研究費助成事業交付状況

【科学研究費助成事業交付実績】

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H24		H25		H26～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究 A	看護	研究代表者	教授	野嶋佑由美	研究-実践の連携による家族に対する看護エンパワーメント介入の評価研究	継続	H22～24 H25繰越	19,160	7,620	5,734	0			24,894	7,620
基盤研究A 小計								19,160	7,620	5,734	0	0	24,894	7,620	
基盤研究 B	看護	研究代表者	教授	中野 綾美	子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドラインの開発	新規	H25～28			2,698	1,350	10,702	13,400	1,350	
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	NICUからの在宅移行を支えるシミュレーションを活用した教育プログラムの開発	新規	H25～28			1,226	660	6,774	8,000	660	
		研究代表者	教授	藤田 佐和	研究-臨床連携システムによるがん患者の在宅移行エンパワーメント看護介入の評価研究	新規	H25～27			2,812	1,890	9,388	12,200	1,890	
		研究代表者	教授	中山 洋子	精神障害者の Self-care Assessment Tool の臨床活用	新規	H25～27			1,009	780	5,191	6,200	780	
		研究代表者	教授	山田 覚	大規模自然災害に備えた地方大学による地域住民支援システムの構築	継続	H24～28	3,856	1,320	1,995	600	6,149	12,000	1,920	
	研究代表者	教授	中山 洋子	精神障害者のセルフケア能力を評価する尺度の開発	継続	H22～24 H25繰越	6,430	1,929	500	291		6,930	2,220		
文化	研究代表者	准教授	高西 成介	海域交流をキーワードとした中国通俗文学の学術的研究	継続	H23～25	9,000	2,700	4,500	1,350		13,500	4,050		
基盤研究B 小計								19,286	5,949	14,740	6,921	38,204	72,230	12,870	
基盤研究 C	看護	研究代表者	教授	長戸 和子	在宅療養者の家族の「家族マネジメント力」育成のための看護介入方法の開発と評価	新規	H25～27			503	270	2,897	3,400	270	
		研究代表者	教授	藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメントプログラムの評価	新規	H25～27			1,737	630	2,163	3,900	630	
		研究代表者	教授	宮武 陽子	慢性心不全患者のセルフモニタリング能力開発のための教育支援プログラムの開発	新規	H25～27			1,253	510	2,347	3,600	510	
		研究代表者	准教授	大川 宣容	「手術を受けた肺がん患者の身体経験を手かりとした看護介入モデル」の臨床活用	新規	H25～27			1,080	480	2,620	3,700	480	
		研究代表者	准教授	鈴木 幹子	父親としてのコンピテンシーを高めるための育児支援システムの構築	新規	H25～27			653	300	3,047	3,700	300	
		研究代表者	准教授	田井 雅子	統合失調症をもつ人の症状マネジメント習得を支援するケアガイドラインの開発	新規	H25～27			1,033	360	2,867	3,900	360	
		研究代表者	助教	小原 弘子	訪問看護師と介護職との協働を促進する訪問看護師への教育プログラムの開発	新規	H25～27			731	270	1,569	2,300	270	
		研究代表者	助教	下元 理恵	慢性心不全患者の身体感覚に着目した保健行動を導くガイドラインの開発	新規	H25～27			1,140	390	1,860	3,000	390	
		研究代表者	助教	岩崎 順子	Maternal Confidenceを育成する看護介入プログラムの開発	継続	H24～26	600	390	312	270	2,388	3,300	660	
		研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	乳児期の子どもの育てる母親のMastery獲得のプロセスと介入方法の開発	継続	H24～26	539	600	608	270	2,953	4,100	870	
		研究代表者	教授	池添 志乃	発達障害の子どもの家族を支える養護教諭の協働支援プログラムの開発	継続	H23～25	2,800	840	1,126	360		3,926	1,200	
		研究代表者	教授	時長 美希	アウトリーチ活動を基盤とした地区活動モデルの構築	継続	H23～25 H26繰越	1,397	780	1,068	300	1,135	3,600	1,080	
		研究代表者	教授	松本 鈴子	女性の出産に伴うトラウマ後の成長過程と看護者のケア提供モデルの構築	継続	H23～25 H26繰越	660	840	1,108	360	2,232	4,000	1,200	
	研究代表者	教授	森下 利子	治療期にあるがん患者へのホリスティックアプローチを基盤とするケアモデルの開発	継続	H23～25 H26繰越	978	420	429	210	693	2,100	630		
	研究代表者	教授	森下 安子	地域を基盤とした「地域病院協働型在宅移行支援システム」の開発とガイドラインの作成	継続	H23～25	2,700	810	1,284	390		3,984	1,200		
	研究代表者	准教授	瓜生 浩子	高次脳機能障害者の家族のFamily Hardiness支援教育マニュアルの作成	継続	H23～25 H26繰越	2,914	900	484	300	602	4,000	1,200		
	研究代表者	助教	坂元 綾	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発	継続	H23～25	1,550	630	993	240		2,543	870		
	社会福祉	研究代表者	准教授	鈴木 孝典	精神障害者グループホーム選択指標の開発的研究	新規	H25～27			277	240	1,823	2,100	240	
		研究代表者	講師	鳩間亜紀子	在宅における高齢者の移送をめぐる事故の実態	新規	H25～27			599	180	1,701	2,300	180	
		研究代表者	教授	田中きよむ	限界集落地域的孤立化を基盤とする要援護者の孤立化問題と生活支援	継続	H24～26	1,232	420	857	480	1,811	3,900	900	
研究代表者		准教授	山村 靖彦	高齢者サロンの展開方法に関する研究-小地域別ソーシャル・キャピタル分析から	継続	H23～25	1,100	330	600	180		1,700	510		
文化	研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語における形容詞、名詞から構成される名詞句の修飾関係と、その意味拡張について	新規	H25～27			348	150	1,152	1,500	150		
	研究代表者	教授	三浦 要一	明治前期の微発物件資料にみる民家の基礎的研究	継続	H24～26	700	240	695	180	705	2,100	420		
	研究代表者	准教授	吉川 孝	現象学的倫理学としてのミュンヘン・ゲッティンゲン学派の研究	継続	H23～25	1,872	600	1,028	270		2,900	870		
地域教育研究セク-	研究代表者	教授	荻沼 一男	染色体の形態や核型が大きく異なるハマボスのゲノム再編はどのようにして起きたのか	継続	H24～26	1,500	450	1,664	510	1,036	4,200	960		
	研究代表者	教授	清原 泰治	1950～1970年代の高知県における市町村民運動会の社会的機能に関する研究	継続	H24～26	600	180	522	180	678	1,800	360		
基盤研究C 小計								21,142	8,430	22,132	8,280	38,279	81,553	16,710	
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	教授	中山 洋子	キャリア後期看護師の看護実践能力の開発とその活用	継続	H24～25 H26繰越	466	420	526	390	1,708	2,700	810	
		研究代表者	教授	竹崎久美子	高齢患者の在宅退院時におけるIADL支援と在宅移行促進のための看護援助	継続	H23～25 H26繰越	700	300	345	120	355	1,400	420	
	健康栄養	研究代表者	教授	渡邊 浩幸	高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立	継続	H24～26	830	360	1,063	270	1,107	3,000	630	
挑戦的萌芽研究 小計								1,996	1,080	1,934	780	3,170	7,100	1,860	
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助教	有田 直子	小児がんの青年が親と医療者とともに意思決定への看護実践ガイドラインの開発	新規	H25～26			1,100	330	900	2,000	330	
		研究代表者	助教	野島 真美	被災地で救済活動を行う医療者に対するストレス負荷訓練の開発	新規	H25～26			1,100	330	1,000	2,100	330	
		研究代表者	講師	廣川 恵子	通院しながら生活するがん患者の「調整力」尺度の開発	継続	H24～25	900	270	700	210		1,600	480	
		研究代表者	助教	川本 美香	効果的な特定保健指導を実現する関係形成のためのガイドラインの開発	継続	H24～25	800	240	404	180		1,204	420	
研究活動スタート支援 小計								1,700	510	3,304	1,050	1,900	6,904	1,560	

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H24		H25		H26～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
								若手研究B	看護	研究代表者	助教	小澤 若菜	小規模事業場における健康づくり支援ガイドラインの開発	新規	H25～27
		研究代表者	助教	小松弓香理	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族のMastery獲得を支援する看護介入	新規	H25～27			134	330	2,466	2,600	330	
		研究代表者	助教	首藤ひとみ	医療的ケアの必要な子どもの親のレジリエンスを高める看護介入の開発	新規	H25～27			701	300	2,399	3,100	300	
		研究代表者	助教	高谷 恭子	腎移植を受けた思春期の子どもと親がともに生きる軌跡を説明できるモデルの構築	新規	H25～27			798	330	2,102	2,900	330	
		研究代表者	助教	升田 茂章	前立腺全摘出術後患者と家族への排尿障害とセクシュアリティの看護ガイドラインの開発	継続	H24～26	1,246	390	1,002	300	952	3,200	690	
		研究代表者	助教	潮 由美子	在宅移行期のシームレスケアに向けた病棟看護師と訪問看護師の協働のガイドライン	継続	H24～26	500	150	500	150	200	1,200	300	
		研究代表者	助教	横本 香	精神看護者の心理的距離に関する臨床判断・看護行動の類型化及び新人教育ガイドライン	継続	H24～26	1,195	360	425	240	1,080	2,700	600	
		研究代表者	講師	石川 麻衣	行政保健師の健康増進計画推進活動モデルの開発	継続	H23～25	1,214	390	584	150		1,798	540	
		研究代表者	助教	井上 正隆	状況再現シミュレーションを用いたケアデザインの獲得を目的とした教育法の開発	継続	H23～25	2,695	810	490	150		3,185	960	
	社会福祉	研究代表者	助教	橋本 力	介護支援専門員によるインフォーマル・サポート活用の支援プロセスに関する研究	継続	H24～25	187	60	113	30		300	90	
	健康栄養	研究代表者	助教	田中 守	牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか	新規	H25～26			1,584	480	1,516	3,100	480	
	文化	研究代表者	准教授	山口 善成	注釈の意義に関する理論的・実践的研究	継続	H24～27	560	180	684	210	1,556	2,800	390	
		研究代表者	講師	飯高 伸五	ミクロネシア地域社会の観点からみた太平洋戦争の記憶の動態に関する民族誌的研究	継続	H24～25	500	150	500	150		1,000	300	
若手研究B 小計								8,097	2,490	7,979	3,060	14,007	30,083	5,550	
合 計								71,381	26,079	55,823	20,091	95,560	222,764	46,170	

※ 平成25年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

【平成25年度 科学研究費採択件数】

	研究種目名	状況	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	地域教育研究センター	計
新規件数	基盤研究（B）（一般）	応募数	1	5	0	1	0	7
		採択数	0	3	0	0	0	3
		採択率	0.0%	60.0%	—	0.0%	—	42.9%
	基盤研究（C）（一般）	応募数	4	13	8	2	2	29
		採択数	1	8	2	0	0	11
		採択率	25.0%	61.5%	25.0%	0.0%	0.0%	37.9%
	挑戦的萌芽研究	応募数	1	2	2	5	2	12
		採択数	0	0	0	0	0	0
		採択率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若手研究（B）	応募数	0	6	5	3	0	14
		採択数	0	4	0	1	0	5
		採択率	—	66.7%	0.0%	33.3%	—	35.7%
	研究活動スタート支援	応募数	0	4	0	0	0	4
		採択数	0	2	0	0	0	2
		採択率	—	50.0%	—	—	—	50.0%
合計	応募数	6	30	15	11	4	66	
	採択数	1	17	2	1	0	21	
	採択率	16.7%	56.7%	13.3%	9.1%	0.0%	31.8%	
継続件数			5	20	2	1	2	30
合計件数			6	37	4	2	2	51

(2) 【中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム】

●事業目的と平成25年度の活動

中国・四国がんプロ養成基盤プログラムは、中国・四国地方の全域にわたる大学院、がんセンター、がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高齢がん専門医療人養成の教育プログラムである。高度な専門知識に加え、チーム医療・リサーチマインドを身につけた全人的高齢がん専門医療人が多数輩出されることにより、中国・四国地域におけるがん治療の均てん化、標準化が実現され、各大学、地域における臨床研究や橋渡し研究の活性化を目指している。

岡山大学は主幹校として事務局を置き、事業全体の推進及び統括を行う。各大学（10大学）は専門性を活かし、各種WGの幹事校として他大学と連携してカリキュラムを編成し、実施する。

高知県立大学大学院は、がん高度実践看護師WGの主幹校として事業に取り組んでおり、他の4大学院と連携してインテンシブコースⅡとして、がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開をテーマとする講演会の開催などを行った。また、高知県立大学大学院では、平成24年度に38単位の高度実践看護師教育課程への移行を行い、カリキュラムを強化するとともに、平成25年度には38単位移行後の修了生を4名輩出した。また、チーム医療における高度実践看護師の役割開発を目指してセミナーや学習会を実施し、さらにインテンシブコースⅠとして、平成24年度より在宅移行や在宅看取りに力を入れた教育コースを開講し、地域の看護職への教育活動を行った。各大学の名称と担当は次の通り。

- ・岡山大学(主幹校)・・・がん薬物療法、放射線治療、医学物理士
- ・愛媛大学・・・・・・・・・・がん薬物療法
- ・香川大学・・・・・・・・・・緩和療法
- ・川崎医科大学・・・・・・・・ファカルティ・ディベロプメント（FD）、がん治療生涯教育
- ・高知大学・・・・・・・・・・放射線治療、在宅がん医療
- ・高知県立大学・・・・・・・・がん高度実践看護師
- ・徳島大学・・・・・・・・・・がん専門薬剤師、がん専門栄養士
- ・徳島文理大学
- ・広島大学
- ・山口大学・・・・・・・・・・腫瘍外科、eラーニング

年度	担当教員			事業実施 期間	事業内容	交付金額 (千円)
	学 部	職 名	氏 名			
H24	看護学部	教 授	藤田 佐和	H24. 4.1 } H25.3.31	<ul style="list-style-type: none"> ・がん看護インテンシブコースⅠ(在宅がん看護)の実施(1月～3月の15日間、11名修了) ・がん高度実践看護師WGインテンシブコースⅡ(講演会)の実施(2回) ・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間) ・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回) ・チーム医療セミナーの実施(7回) ・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(4回) ・大学院の広報活動・カリキュラムの策定 	9,723
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			
H25	看護学部	教 授	藤田 佐和	H25. 4.1 } H26.3.31	<ul style="list-style-type: none"> ・がん看護インテンシブコースⅠ(在宅がん看護)の実施(11月～2月の15日間、8名修了) ・がん高度実践看護師WGインテンシブコースⅡ(講演会)の実施(2回) ・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間) ・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回) ・チーム医療セミナーの実施(7回) ・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(5回) ・大学院の広報活動・カリキュラムの策定 	9,723
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			

(3) 【博士課程教育リーディングプログラム：災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムに申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー（DNGL）養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院（プログラム責任大学）
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

●交付金額

平成25年度 175,951千円

年度	プログラム担当教員				事業内容	
	役職	所属	職名	氏名		
H25	プログラム責任 大学長	学長	学長	南 裕子	<ul style="list-style-type: none"> ・5大学共同教育課程「共同災害看護学専攻博士課程」の設置届出が認可され、設置報告をすると共に、5大学学長会議、DNGLプログラム管理運営会議、教育課程連絡協議会を開催し、教育課程の開講準備を実施。 ・平成26年度入学試験を行い、計11名（うち高知県立大学2名）の入学者を決定。 ・実験的教育・遠隔授業のためのLearning Management System及び周辺システムを導入し、遠隔授業の方法を開発、実施、検証を行い、開講に向けて安定したシステムを構築。 ・各大学で学際の実験教育が実施できるよう準備し、災害看護シミュレーションラボセンターの機能強化、学生のための教育コンテンツの開発を実施。 ・各5大学において、国内外の産官学連携を更に深め、究連携体制の整備と災害看護教育に関する教育研究環境の整備を実施し、研究のインターンの準備を実施。 ・災害看護に関する情報や本事業の活動報告を発信するための国際学術雑誌の発行を決め、災害看護国際学術雑誌創刊記念セミナーを開催。 ・全体企画としての国際セミナーの実施 ・各大学企画・運営による公開講座及びセミナーの実施 	
	プログラム責任者	副学長	副学長	野嶋佐由美		
	プログラム担当者	看護学 研究科		教授		山田 覚
				教授		中山 洋子
				教授		中野 綾美
				教授		藤田 佐和
				教授		竹崎久美子
				教授		池田 光徳
				准教授		神原 咲子
				教授		大村 誠
	人間生活学 研究科	教授	長澤紀美子			

プログラム公式 Web サイト <http://www.dngl.jp/>

(4) 奨学寄附金受入状況 (※ 平成15年度から実施)

平成 15 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	4,500,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
3	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	590,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		3件		5,590,000		

平成 16 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	-	学 長	青山 英康	17,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	-	学 長	青山 英康	1,000,000	高知女子大学教職員組合	高知女子大学における教育研究の奨励
3	生活科学部	教 授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
4	生活科学部	教 授	佐藤 厚	300,000	有限会社 創友	ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験
5	生活科学部	助 手	川口 順子	300,000	財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について
6	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	210,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合 計		6件		2,327,000		

平成 17 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 18 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 19 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合 計		0 件		0		

平成 20 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	生活科学部	教授	佐藤 厚	500,000	井上石灰工業(株)	トマトの含有する機能性 についての研究
合計		1件		500,000		

平成 21 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	生活科学部	教授	佐藤 厚	240,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	高齢者の転倒防止に向 けた実態調査
2	生活科学部	教授	川村 美笑 子	500,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	「深層水由来新素材ミネ ラルを活用した高齢者向 け摂食・嚥下食の開発」 に関する研究
3	生活科学部	准教授	清水 扶美	250,000	日本農産(株)	食育及びヨード卵の機能 性の検討
合計		1件		990,000		

平成 22 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 23 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	健康栄養 学 部	教授	渡邊 浩幸	1,500,000	株式会社ファンケル	PSGなどの食品因子の 生物活性測定とその技 術移管
合計		1件		1,500,000		

平成 24 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	看護学部	教授	藤田 佐和	300,000	公益財団法人 日中医学協会	医学奨学生の研究に関 する費用の一部補填
2	看護学部	准教授	神原 咲子	300,000	財団法人福田記念医 療技術振興財団	ITの有効活用とバリアに なるもの
合計		2件		600,000		

平成 25 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
実績なし						
合計		0件		0		

(5) 受託研究費受入状況

(単位:円)

H17	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成17年4月28日～ 平成18年3月24日
2	生活科学部	教授	佐藤 厚	2,518,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	高知県地域研究開発促進拠点支援事業 題目:高齢者転倒予防のための 機器開発及びその製品化	平成17年7月1日～ 平成18年2月28日
合計			2件	4,818,000			

(単位:円)

H18	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成18年5月23日～ 平成19年3月23日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨 床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,367,850	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成18年11月7日～ 平成19年3月12日
4	生活科学部	教授	佐藤 厚	1,900,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	呼吸にシンクロした胸郭周径の リアルタイム測定機器の開発	平成18年10月13日～ 平成19年3月30日
合計			4件	10,951,750			

(単位:円)

H19	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の 臨床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
2	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	5,913,000 (うち間接 613,000円)	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成19年5月31日～ 平成20年3月10日
3	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	2,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「シーズ発掘試験」 題目:「非結球アブラナ科葉菜類(ブ チペール)の出荷規格外及び廃棄 部位の有効利用を目指した機能性 食品素材の開発」	平成19年7月13日～ 平成20年3月31日
4	生活科学部	教授	川村美笑子	1,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「研究成果実用化検 討(FS)」 題目:室戸海洋深層水由来新素材ミ ネラルの特性を活用した高齢者向け ソフト食の開発	平成19年12月10日～ 平成20年3月31日
合計			4件	10,296,900			

(単位:円)

H20	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	渡邊 浩幸	3,450,000	(株)ファンケル	題目:発芽米由来ASGの糖・脂 質代謝異常及び老化に伴う代謝 障害の改善効果の検討	平成20年6月26日～ 平成21年7月31日
2	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 200,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	クライアントの病状ステージに応じた 新しい血糖コントロール食品の開発	平成20年8月12日～ 平成21年3月31日
合計			2件	5,450,000			

(単位:円)

H21	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 330,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	ストレスが惹起する疲労を予防 する食品の開発	平成21年7月27日～ 平成22年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	5,979,518	文部科学省高等教育局	看護系大学におけるモデル・コア・カ リキュラム導入に関する調査研究	平成21年8月10日～ 平成22年3月31日
合計			2件	7,979,518			

(単位:円)

H22	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	3,000,000	株式会社ファンケル	慢性炎症反応が行動に及ぼす影響の解明と改善方向の検索に関する研究	平成22年5月6日～ 平成23年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	7,993,400	文部科学省	看護系大学におけるモデル・コアカリキュラム導入に関する調査研究	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
合計			2件	10,993,400			

(単位:円)

H23	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	5,500,000	高知県	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
合計			1件	5,500,000			

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	4,419,807	高知県	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
合計			1件	4,419,807			

(単位:円)

H25	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊浩幸	4,042,500	高知県	県産未利用有用植物の活用に向けた農商工医連携基盤の構築と事業化モデル	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
2	社会福祉学 部	講師	福間 隆康	1,030,000	一般財団法人 全国勤労者福祉・ 共済振興協会	障がい者の雇用と企業の新しい 人的資源管理システム	平成25年12月1日～ 平成27年4月30日
合計			2件	5,072,500			

(6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H24	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,590,225	社団法人 吾川郡医師会	平成24年度退院移行支援 コンサルテーション業務	平成24年4月2日～ 平成25年3月31日
2	看護学部	教授	長戸 和子	697,000	高知県	看護教員継続研修委託業務	平成24年7月6日～ 平成25年1月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成24年度高知県介護職員 喀痰吸引等研修	平成24年8月8日～ 平成25年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成24年度地域医療(多職種 連携)フォーラム開催委託業務	平成24年7月31日～ 平成25年3月31日
合計			4件	7,352,225			

(単位:円)

H25	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,066,442	社団法人 吾川郡医師会	平成25年度退院移行支援 コンサルテーション業務	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成25年度高知県介護職員 喀痰吸引等研修	平成25年5月30日～ 平成26年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成25年度地域医療(在宅での 看取りと他職種連携)フォー ラム開催委託業務	平成25年6月25日～ 平成26年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	602,784	社団法人 吾川郡医師会	「中央西地域包括ケアシステム 構築事業」事業評価調査結果の 分析業務	平成25年10月11日～ 平成26年2月28日
合計			4件	7,734,226			

(7) その他受入状況

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	438,370	公益財団法人 交通エコロジー・ モビリティ財団	多文化共生社会の災害情報に 対するバリアフリーモデルの構築	平成24年7月10日～ 平成25年3月31日
合計		件		438,270			

(単位:円)

H25	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	216,570	公益財団法人 交通エコロジー・ モビリティ財団	多文化共生社会の災害情報に 対するバリアフリーモデルの構築	平成25年4月1日～ 平成26年2月28日
合計		件		216,570			

6 学長特別粋助成事業の状況

【学長特別粋助成事業実績（平成25年度）】

(単位：千円)

	事業内容	助成費	備考
立志社中 (学生プロジェクト)	活動助成金(6チーム) 1,289千円 報酬(審査委員謝金等) 旅費(視察・調査等) 印刷製本費(活動「成果」報告書作成) 消耗品費、通信運搬費	2,044	
COC事業 (地(知)の拠点整備事業)	旅費(文部科学省説明会、先進大学視察等)	500	
大学広報	印刷製本費(文化学部広報パンフレット作成)	608	
国際交流	印刷製本費(私費外国人留学生募集ポスター作成)	580	
学生支援	旅費(全国公立大学学生大会、ほうさい甲子園参加)	263	
公立大学協会 看護・保健医療部会 総会及び分科会	消耗品費(看板、演台花、コピー用紙等) 印刷製本費(複写サービス料金) 通信運搬費、会議費	200	
日本小児看護学会 第22回学術集会	消耗品費(配布用ボールペン・バッグ・クリアファイル等) 広告宣伝費(学術集会用マウスパッド)	496	
日本脂質栄養学会 第22回大会	賃貸料(会場使用料)	100	
災害看護グローバル 養成プログラム事業	旅費(文部科学省視察等) 印刷製本費(東京サテライトキャンパスコピー代) 広報宣伝費(オリジナルストラップ) 通信運搬費(東京サテライトキャンパス回線使用料等) 交際費(他大学訪問のための謝礼品等) 備品(会議用無線マイクロホン) 消耗品費、会議費等	1,584	
合 計		6,375	